

KING'S FIELD IV

FROM SOFTWARE

SLPS 25057

CONTENTS

Ⅰ 基本操作 2
Ⅱ メインメニュー 10
Ⅲ ゲームの進め方 13
Ⅳ アイテム紹介 18
Ⅴ 魔法紹介 20
Ⅵ キャラクター紹介 21
Ⅶ 設定解説 23



このたびは"PlayStation 2"専用ソフト「KING'S FIELD Ⅳ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に取り扱い方法、注意などこの「解説書」をよくお読みになった上で、正しい使用法でお楽しみ下さい。
このソフトにて使用されているMPEGムービーは以下のソフトウェアを利用して作成されています。
ソフトウェアMPEG1/2エンコーダ「TMPGEnc」

※この解説書に書かれている操作説明は初期設定時のコントローラ操作方法を基準にしております。
※DVD-ROMはキズやホコリに弱いので大切に使用してください。

SLPS 25057

PROLOGUE

荒れた大地の西方、モルビデリの秀峰は色褪せた森を抱き静かに佇む。
かつては深き森の覆いにより陽の光からの庇護を受けたものが暮らす地であったが、
地下に都を築いた彼らが世の表舞台から姿を消し、既に幾つもの刻が紡がれている。
今では文献と識者の間に残される旧き民の僅かな記憶……

在るとき辺境の小国、ヘリオドールに一体の像がもたらされる。
出所のわからぬ怪しげな像を王はいたく気に入り傍に置くが、
そのときより全ての生気が失われた。
理なき次第に、賢者は古くからの知恵に頼り、程なくある言い伝えを見つける。
「闇を見つめる滅びの像。手にするものに災いをもたらす」
剣の長はかの像を旧き都に戻すべく、部下を率い闇へと向かった。
ただ言い伝えにすがるかのように。

風の音が全てを掻き消す嵐の夜、
イクシオン・ロズベルグの下を招かざる客が訪れる。
その者はこの場にあるはずの無い像を手渡し、
こう告げると何処へとも無く消えていった。
「像をあるべき場所へ、災いを収めよ」

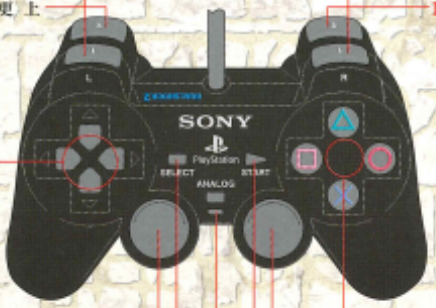
やがて後、イクスは古の都を抱くかの地を目指していた。
師である剣の長を案じつつ、もたらされた災いをあるべき場所へ戻すために。
冷たき闇はただ静かにその手を広げていた……

I 基本操作
BASIC OPERATION

1. コントローラ操作方法
OPERATION

メイン画面

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）



L1ボタン：左平行移動
L2ボタン：視点変更 上

R1ボタン：右平行移動
R2ボタン：視点変更 下

方向キー
上：前進
下：後退
左：左回転
右：右回転

左スティック
方向キー準拠

SELECTボタン：ポーズ

○ボタン：決定/イベントボタン
押したまま方向キーと組み合わせで「走る」

×ボタン：キャンセル/メニューボタン

△ボタン：武器攻撃

□ボタン：魔法使用

右スティック
このゲームでは使用しません。

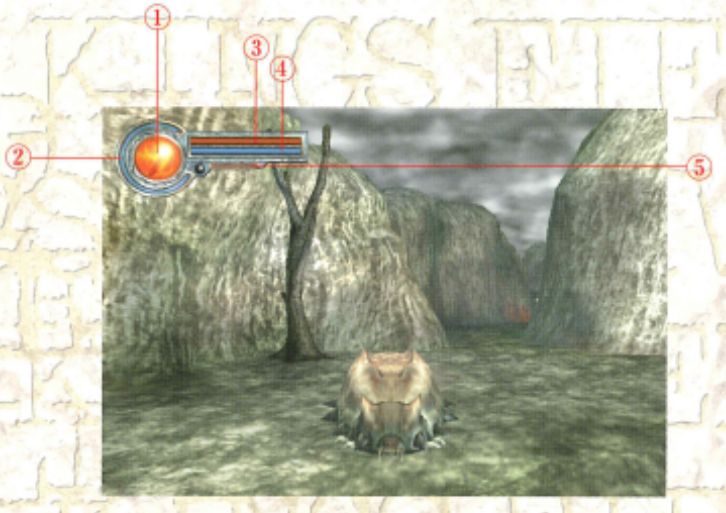
START ボタン
ショートカットアイテム使用

LED表示
（常に赤色）

※メイン画面中にL2、R2ボタンを同時に押すと、視点が水平へと戻ります。
※振動機能のON/OFFは「オプション設定」で切り替えることができます。（→12P「オプション設定」）
※メイン画面でのコントローラの操作方法は、任意の配置に変更することができます。
（→12P「操作キー変更」）
※アナログコントローラ（DUALSHOCK）も同様の操作方法となります。

メイン画面

ゲームは主にこの画面で進めます。
ステータスゲージには主人公の現在の状態が表示されています。



［ステータスゲージの見方］

① HP表示ゲージ…ヒットポイントを表しています。敵やトラップなどからダメージを受けるとゲージが減っていき、なくなると死亡してしまいます。
② MP表示ゲージ…マジックポイントを表しています。
魔法を使用するたびにゲージが減り、なくなると魔法が使用できなくなります。
③ POWERゲージ…武器を振る力を表しています。ゲージが溜まるほどダメージを与えられます。
④ MAGICゲージ…魔法を使用する為の集中度を表しています。
このゲージが最大の時にしか魔法は使用できません。
⑤ 酸素ゲージ…水中に潜る際に必要な酸素を表しています。
水中で活動をしているとゲージが減っていき、これがなくなるとHPが減っていきます。

メインメニュー画面

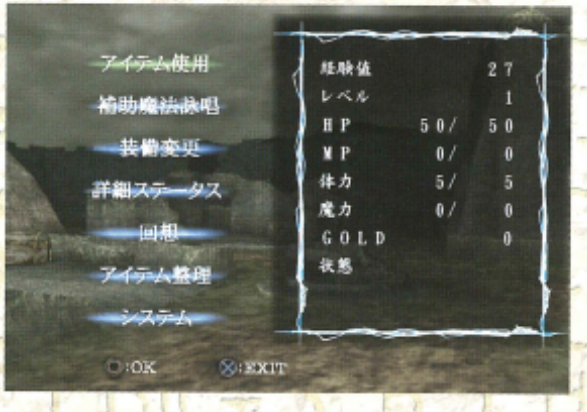
アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）



※アナログコントローラ（DUALSHOCK）も同様の操作方法となります。

メインメニュー画面

アイテムの使用、装備の変更等を行います。



- **アイテム使用**（→10P「アイテム使用」）
  所持しているアイテムを使用します。
  また「KEY LIST」でこれまでに入手した鍵の確認もできます。
- **補助魔法詠唱**（→10P「補助魔法詠唱」）
  回復系・防御系の魔法を使用します。
- **装備変更**（→11P「装備変更」）
  武器・防具、攻撃魔法、その他装備アイテムを装備します。
- **詳細ステータス**（→11P「詳細ステータス」）
  現在の主人公の各種パラメーターを確認できます。
- **回想**（→11P「回想」）
  これまでに出会った人々との会話を思い出します。
- **アイテム整理**（→11P「アイテム整理」）
  使用しないアイテムを「アイテム使用」「装備変更」で表示しないようにすることができます。
- **システム**（→12P「システム」）
  データのロードを始め、操作キーの変更、画面の輝度調節といった各種設定ができます。

マップ画面

ゲーム中に手に入る地図を使用することで現在いる建物や
ダンジョンのマップが表示されます。使用する地図によって
マップの表示方法が2D表示、3D表示と変化します。

アナログコントローラ（DUALSHOCK 2）

L1ボタン：マップを縮小します（3D時）

R1ボタン：マップを拡大します（3D時）



方向キー
上：マップを上に移動（3D時）
/前ページ表示（2D時）
下：マップを下に移動（3D時）
/次ページ表示（2D時）
左：マップを左に移動（3D時）
右：マップを右に移動（3D時）

LED表示
（常に赤色）

左スティック
方向キー準拠

○ボタン：押しながら
方向キーでマップ
回転（3D時）

×ボタン：マップ表示終了

※3Dマップ表示中L1・R1ボタンを同時に押すと、表示を初期状態に戻せます。
※アナログコントローラ（DUALSHOCK）も同様の操作方法となります。



2Dマップ



3Dマップ



START GAME AND QUIT GAME

2. ゲームの開始・終了



HOW TO START GAME

ゲームの開始方法

本体裏側にあるMAIN POWER（主電源）スイッチを入れ、
ゲームDISCを"PlayStation 2"本体にセットし、
⏻（オン／スタンバイ）／RESETボタンを押してください。
タイトル画面が表示されますので、
そこでSTARTボタンを押すとメニューが表示されます。

※注意　DVD-ROMはホコリやキズに弱いので大切に使用してください。
読み取り面についたホコリ、キズなどで読めなくなったDISCに関しては、
補償しかねますのでご了承ください。

メニュー説明

NEW GAME

ゲームを開始します。始めてゲームを行う時はこちらを選択してください。
選択後「輝度調整」画面へと移ります。画面の指示に従って調整をしてください。

LOAD GAME

前回セーブした状態からゲームを再開します。（→9P「データのロード」）

OPTION

ゲーム中の音声、画面表示、コントローラの振動機能、メインメニューの背景などを設定します。
（→12P「オプション設定」）

KEY ASSIGN

ゲーム画面での操作方法を設定します。（→12P「操作キー変更」）

LOAD DATA

データのロード

データのロードはタイトル画面の「LOAD GAME」もしくはメインメニューの
「システム」メニューで行います。セーブしたデータはいつでもロードすることが可能です。



1. メニューボタンを押して「メインメニュー画面」に入り、
「システム」を方向キーで選び、決定ボタンを押します。

2.「システム」内の「ロードゲーム」を方向キーで選び、
決定ボタンを押します。



3. "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）が
差さっているMEMORY CARD差込口を選んだ後、
ロードしたいデータを選んで、決定ボタンを押します。

SAVE DATA

データのセーブ

ゲームの途中経過の状態を保存するには「セーブ」が必要です。
ゲーム中セーブが出来る場所は限られていますのでこまめなセーブをおすすめします。



1. セーブポイントの前に立ち決定ボタンを押します。

2. "PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）が
差さっているMEMORY CARD差込口を選択し、
新しくセーブをする場合は「未使用です」を、
上書きをする場合はセーブしたいデータを選び
決定ボタンを押します。

※初めてデータのセーブをする場合"PlayStation 2"専用メモリーカード（8MB）に150KB以上の空きが必要です。追加してデータのセーブをする場合は1データにつき90KB以上の空きが必要です。

QUIT GAME

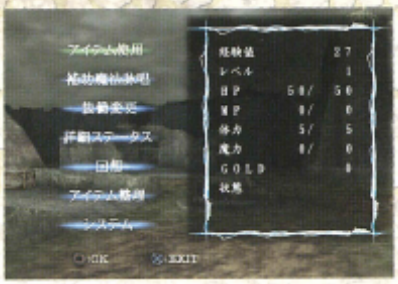
ゲームの終了

ゲームの終了は「メインメニュー」の「システム」メニューで行います。

1. メニューボタンを押してメインメニューに入り、方向キーで「システム」を選択し、
決定ボタンを押します。
2.「システム」内の「ゲーム終了」を方向キーで選択して決定ボタンを押します。
3.「はい」を選ぶとタイトル画面に戻りますので、ディスクを抜き電源を切ってください。

※「セーブ」を行わないとゲームの途中経過は保存されませんのでご注意ください。

II MAIN MENU メインメニュー



■アイテム使用

所持しているアイテムはステータス画面の「アイテム使用」メニューで使用します。
また「KEY LIST」でこれまでに入手した鍵の確認もできます。

1.メニューボタンを押してメインメニューを開き「アイテム使用」に
カーソルを合わせて決定ボタンを押します。

2.使用したいアイテムにカーソルを合わせて決定ボタンで使用します。
※Ⓡボタンを押すと現在所持している鍵が一覧できます。





■補助魔法詠唱

主に回復系・防御系の魔法を使用します。(→20P「魔法紹介」)



1. メニューボタンを押してメインメニューを開き「補助魔法詠唱」
にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。

2. 使用したい魔法にカーソルを合わせて決定ボタンで使用します。

※MAGICゲージが最大でないと魔法は使用できません。
(→3P「メイン画面」)

■装備変更

武器・防具、攻撃魔法、その他装備アイテムを装備します。



1. メニューボタンを押してメインメニューを開き
「装備の選択」にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。

2. 方向キー上、下で装備個所にカーソルを合わせ、方向キー左、
右で装備したいアイテムを選び、決定ボタンで決定します。

※Ⓡボタンを押すと現在の装備が一覧表示されます。
※装備可能重量を超えて装備を行うと、動きが遅くなり走れなくなります。
※装備品にカーソルを合わせてⒶボタンを押すと説明を見ることができます。

■詳細ステータス

現在の主人公の各種パラメーターを確認できます。



メニューボタンを押してメインメニューを開き
「詳細ステータス」にカーソルを合わせて
決定ボタンを押します。

■回想

これまで出会った人々との会話を思い出します。



1. メニューボタンを押してメインメニューを開き
「回想」にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。

2. 方向キー左、右でキャラクターを、方向キー上、下で
会話を選び、決定ボタンを押します。

■アイテム整理

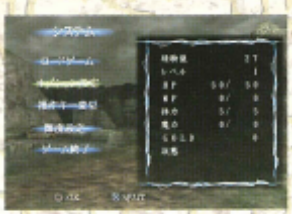
使用しないアイテムをメインメニュー「アイテム使用」「装備変更」で
表示しないようにすることができます。



1. メニューボタンを押してメインメニューを開き「アイテム整理」
にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。

2. 方向キー上、下で表示したくないアイテムを選び、
決定ボタンを押します。
もう一度決定ボタンを押すと元の状態に戻すことができます。

■システム



○ロードゲーム
セーブしてあるデータをロードします。(→9P「データのロード」)

○オプション設定
効果音、BGM、歩行効果、輝度調整などの各種設定ができます。



1. メニューボタンを押してメインメニューを開き「システム」にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。
2. 「オプション」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。
3. 設定変更したい項目を選び、方向キーの左、右で設定を変更してください。

オプション設定メニュー一覧

音声	：ゲーム中の音声をステレオもしくはモノラルに変更します。
BGM－VOL	：ゲーム中に流れるBGMの音量を調整します。
効果音－VOL	：ゲーム中に流れる効果音の音量を調整します。
歩行効果	：歩行時の上下揺れのON／OFFを切り替えます。
振動	：振動機能のON／OFFを切り替えます。
パネル表示	：メイン画面ステータスゲージの表示のON／OFFを切り替えます。
メニュー背景	：メニューで使用される背景を変更します。

○操作キー変更
コントローラの方向キーおよび各種ボタンの設定を変更できます。



1. メニューボタンを押してステータスメニューを開き「システム」にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。
2. 「操作キー変更」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押します。
3. 方向キー上、下で操作項目を選び、方向キー左、右で選んだ操作項目を振り分ける場所を選び、決定ボタンを押してください。振り分けたい場所が青く表示されたら変更完了です。

※操作項目が2つ以上が振り分けられている場所は赤く表示が残ります。
※STARTボタン、SELECTボタン、L3、R3ボタンへの操作キー変更はできません。

○輝度調整
最もゲームの世界を感じていただける適切な明るさに画面を調整します。方向キー左、右で明るさを調整し、決定ボタンを押して終了です。

○ゲーム終了
ゲームを終了します。(→9P「ゲームの終了」)

III HOW TO PLAY GAME ゲームの進め方

ITEMS AND GATHERING DATA

1. アイテム・情報収集

物語には数々の困難が待ち受けおり、それを乗り越える為には人々と話をし、アイテムを集め、その中から謎を解く糸口を探し出すことが必要です。

■アイテムの拾い方



1. 例えば薬草が落ちていたとします。
2. 薬草の前でイベントボタンを押してください。
3. 画面中央に薬草が表示されますので、入手するならイベントボタン、必要がなければキャンセルボタンを押してください。

■会話



冒険の途中様々な人々と出会います。
何度も話しかけているうちに役立つ情報も聞けることでしょう。話をしたい人の前に立ち、イベントボタンで話を聞くことができます。また、一度人々から聞いた話はステータスメニューの「回想」で思い出すことができます。
(→11P「回想」)

■調べる

主人公の前には数々の謎があらわれます。
行く手をふさがれた時はまわりをよく見て、イベントボタンを押して調べてみてください。
中にはトラップが仕掛けられている場所もあります。うっかりトラップに触ってしまうとダメージを受けることもありますので注意して下さい。
また、攻撃することで壊すことができるものもあります。



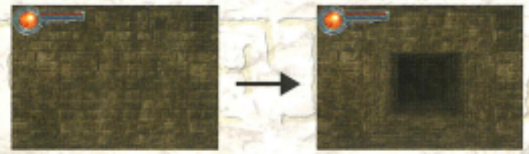
■ハシゴの使い方



ハシゴを使うには、ハシゴの目の前に立ち、イベントボタンを押します。すると、自動的にハシゴにつかまりますので、あとは前後移動操作を行うことで昇り降りができます。
ハシゴにつかまっている状態で、さらにイベントボタンを押した場合、左右回転操作や平行移動操作をした場合、ダメージを受けた場合はハシゴから手を放します。

■隠し扉

一見何もないような場所でも実はそこに
隠し扉が存在することがあります。



隠し扉の発見は壁に沿ってイベントボタンを押す方法以外にも
アイテムを使用する方法があります。扉の奥には宝箱や新たな道があります。

■ワープ

旅の過程でとある石碑を目にするはずです。
「帰路の道標」と呼ばれるこの石碑に「導石(しるべいし)」というアイテムを設置し、
「渡の方陣(わたりのほうじん)」と呼ばれる魔法陣にて、
「導石」と対になる「導杖(しるべづえ)」を使用することで
主人公は一瞬にして「導石」を設置した石碑に帰還できます。
「導石」と「導杖」は全部で5種類あります。



帰路の道標



渡の方陣

■走る

移動には歩くだけでなく、イベントボタンを押したまま方向キーを操作することで走ることができます。走っている最中は普段より防御力が下がってしまいますので注意が必要です。

■落下

時には高い場所から飛び降りなければ進めない場所があるかもしれません。
飛び降りるとダメージを受け、しばらくの間移動が遅くなってしまいますので注意が必要です。

■水中での移動



主人公は一定時間内であれば水中を移動することができます。
酸素がなくなるとダメージを受けますので、
残り酸素量に注意して進みましょう。

DEALINGS

2. 取り引き

冒険中、話しかけた人物が商人の場合、アイテムの売買ができます。



1. 商人の前に立ち、イベントボタンで話を聞きます。
2. 「購入」「売却」のどちらかにカーソルを合わせてイベントボタンを押します。
3. 方向キー上、下でアイテムを選択し、決定ボタンを押すと取り引きができます。

※アイテムにカーソルを合わせて△ボタンを押すと説明を見ることができます。
※この他に武器・防具の修理と強化をしてくれる修理屋や、
ある特定のアイテムと交換でアイテムをくれる人もいます。

BATTLE

3. 戦闘

冒険の途中のいたるところで様々な敵と遭遇します。
戦闘には武器と魔法、2種類の攻撃方法を駆使してください。
戦いを挑むのも逃げるのも自由ですが、
逃げてばかりでは先に進むことは難しいでしょう。





■武器での戦闘

武器での攻撃は△ボタンを押すことで行えます。
武器は種類によって長さが違い、遠くからでも敵に当てやすいものもあれば
近づかないと当たらないものもあります。

弓系の武器は△ボタンを押すとPOWERゲージが溜まり、
ゲージの量によって矢の飛距離が変化します。
弓は持っている矢の本数分しか使用できませんので注意しましょう。

■魔法での戦闘

魔法を覚えている場合メインメニュー「装備変更」で
魔法を装備後◉ボタンを押すことで使用することができます。
ただし使用するにはMAGICゲージが最大で、
魔法ごとに決められた消費MPが残っている必要があります。

■戦闘でのコツ

なかなか敵を倒せない、倒せてもいつもダメージを受けてしまい
先へ進めないという人は戦闘のコツを身につけましょう。



①敵から少し離れてPOWERゲージが一杯になるのを待ちます。



②敵に近づき、武器を降り始めると同時に敵にぶつかるつもりで突進します。この時敵の正面から近づくのではなくL1ボタンやR1ボタンを使って敵の横や後ろに回り込むと安全に攻撃できます。



③攻撃が当たると敵は一瞬動きが止まるのでその際に離れます。
①～③を繰り返します。

敵の弱点を知ることや、武器と魔法の両方を組み合わせて戦うことも戦闘に勝つコツです。
魔法を上手く当てるには敵が画面の中央に来るようにしてから撃つといいでしょう。
主人公の攻撃力が低すぎると敵に弾かれることもありますので注意しましょう。

■状態

敵の中には特殊攻撃を仕掛けてくるものがいます。
特殊攻撃を受けると主人公のHPが減り続けたり動けなくなったりと
様々な状態になることがあります。
現在の状態についてはメインメニュー（→10P「メインメニュー」）で確認できます。

毒 毒に冒され一定時間HPが減り続けます。
痺 体が麻痺して動けなくなります。
闇 暗闇の魔法にかかり、一定時間ほとんど前が見えなくなります。
呪 呪いにかかり、一定時間体力と魔力が半分になりHP&MPが低下します。
重 一定時間動きが鈍くなります。
封 魔法が封じられます。

■経験値・レベル・体力・魔力

経験値は敵を倒すごとに増加し、一定量でレベルアップとなります。
レベルアップすると各種ステータス数値が上がります。
また、体力は武器を振り敵にダメージを与えることで、魔力は魔法の使用によっても増加します。
各パラメーターは詳細ステータス画面（→11P「詳細ステータス」）で確認できます。

■熟練度

同じ武器で戦闘を行いつづけると熟練度が上がりレベルアップします。
始めは弱い武器でもレベルアップすることで威力や効果が変わります。
魔法も同じように使用しつづけることで熟練度が上がり威力や効果が変わります。



熟練度LV1



熟練度LV3

■死亡

冒険にはいつも危険が付きまといます。
魔物との戦い、トラップでＨＰがなくなった場合以外にも
ゲームオーバーとなる危険はいたるところにありますので、
普段からセーブを忘れないようにしましょう。
（→9P「データのセーブ」）

IV ITEMS アイテム紹介

冒険中手に入るアイテムの一部を紹介します。

武　器



ショートソード

序盤で手に入る短めの剣。
遠征隊たちの予備装備だが、無いよりはまし。



つるはし

石掘りたちが使っていた道具。
その破壊力は武器に引けを取らない。
非常に重いのが難点だが、そこに使い道が…



エグゼキュート

剣と呼ぶにはあまりにも無骨なその形状は、
相手を叩き斬る為に作られた。
重量・威力は他の追随を許さない。

防　具



ナイトシールド

騎士の称号を持つ者に与えられる盾。
これぐらいは持っていないと防具としては
安心できないだろう。



シルバーヘルム

古の都でも希少であった聖なる銀より作られた兜。
魔を退ける力が込められている。



フォースハンド

持つ者の力を倍増してくれる篭手。
武器を扱う者にとっては非常に役に立つ防具。

アイテム



薬草

この地に生える野草で傷を癒す力を持っている。
比較的日の当たらない場所に生えていることが多い。



妖精草の根

妖精草と呼ばれる野草の根を乾燥させたもの。
狂った体の機能を正常に戻してくれるが、
毒に対しては効き目が無い。



滅びの像

辺境の王国ヘリオドールに災いをもたらした禍々しき像。
詳しいことは何一つ分かっていないが、気が付けば王に献上され、
王がそれを気に入り側に置いたという事実だけが残っている。

V MAGIC 魔法紹介

全ての魔法は魔法石を手に入れ、使用することで覚えます。
例えば火の魔法の場合は「火の魔法石」、水の魔法の場合は「水の魔法石」といったように
それぞれの属性を持った魔法石が必要です。
また魔法は使用することで熟練度が上がり強力になります。

■攻撃系 魔法

ファイアーボール(火)	高熱の火球を敵に向かって投げつけダメージを与える。
ヴォルカノン(土)	火山弾を発射し、着弾した地面から溶岩が溢れ出す。
ウォーターレイ(水)	水球から発射された高圧の細い水流が敵を追う。
ウィンドカッター(風)	風の刃を飛ばし敵を切り刻む。
ライトニングボルト(光)	光球からの雷撃と着弾による衝撃波で攻撃する。
ダーク(闇)	まわりを闇の空間に変化させ敵から身を隠す。


ファイアーボール


ライトニングボルト


ウォーターレイ

■補助系 魔法

アースヒール(土)	大地の力で傷ついた体を回復する。
キュア(水)	清らかな水が肉体の傷や異常を徐々に癒してくれる。
ミサイルシールド(風)	気流をまとい飛び道具から身を守る。
ライト(光)	魔法の力で光をあつめまわりを明るく照らす。
トランスファー(闇)	体内の力の流れを変え、精神を犠牲にするかわりに肉体を強化する。


アースヒール


ミサイルシールド


キュア

VI CHARACTERS キャラクター紹介

マシュー・ベルナール



厄災の地の集落跡で細々と店を開いている男。
彼の店は地下の倉庫跡という場所にあり、
当然ながら訪れる者は滅多にいない。
かつては東の谷の石掘りたちが利用していたようだが、
採掘場が閉鎖された今では、それも無くなり、
来客は皆無と言って良い。
それでも彼は店を閉めようとする気はまったく無いらしく、
いつも黙々と看板を磨いている。
一説には命の石が採掘される大昔から店があったというが、
真実を知る者はいない。



エドミー・ラックレス

伝説の大盗賊、千の鍵ツワイクを追って
古の都を目指している盗賊。
ツワイクはその昔、西方一帯を荒らし回った盗賊で、
歴史上比類なき腕の持ち主であった。
彼は手先が非常に器用で、どんな鍵でも作ってしまうという
技術を持ち「千の鍵」の二つ名で呼ばれた。
生きながらにして伝説となった彼は、
己の腕を賭けて古の都に潜っていったが、
その後彼の姿を見た者はいない。
伝説の盗賊の不帰は古の都の悪名を更に高めるものとなった。
エドミーはツワイクを越える事を目標としており、
彼が求めたという森の民の秘宝を探している。
古の都に降りる路があるという遺跡までは辿り着いたが、
そこに巣食う魔物に手こずり先に進めずにいる。



ジョルジ・カリエフ

国にもたらされた厄災を収めるため、
古の都に潜っていったヘリオドールの遠征隊の一人。
魔物の巣食う古の都においての遠征は、
過酷を極めたものになり、脱走者は後を絶たなかった。
ジョルジもその一人で、仲間と逃げ出してきたが、
地上まであと僅かのところで相方は魔物に殺されてしまう。
自分も魔物に殺されかけ、
生きる気力を無くして座り込んでいる。



アデリーン・ジュネ

母親の病気を治すため、カルザイトから
この地を訪れた一家の娘。母は病で床に伏し、
父は命の石を掘りに出たまま戻って来ないため、
少々退屈している。



エレイン・ジュネ

少女の母親。長い間肺を患っている。
故郷の医者からはさじを投げられており、
最後の頼みとして命の石を求めてやって来た。
しかし長旅の疲れからか病状は悪化し、
今では起き上がる事がやっとの状態になってしまった。
夫のアトリーが数日前に命の石を掘りに出たまま
帰ってこないのを心配している。

VII EXPLANATIONS 設定解説

<厄災の地>

荒れ果てた大地の西の果てに険しい高峰が連なる。
魔物が彷徨い疫病や毒の霧が漂うその場所を、人々は厄災の地と呼ぶ。
峰の奥にはかつて「森の民」と呼ばれた一族が住んでおり、
その地下には彼らの聖地が眠っていると言われている。
実際それを裏付けるかのような遺跡が幾つか存在しており、
かつては多くの者がこの地を訪れた。
ある者は力を求め、ある者は財宝を求め、
またある者は歴史の真理を求め。
各々がそれぞれの何かを求めて地下に潜って行ったが、
生きて帰ってくる者は殆どいなかった。
現在この地を訪れる者は、行き場を失った咎人や不治を宣告された病人など、
寄る辺を無くした極一部の者だけである。

<ヘリオドール>

厄災の地の麓にあり、かの地に抗うように息づく小国。
近年、若き王が即位してから力を伸ばしつつある。
急激な国の成長は周辺に危機感を与え、
特に隣国カルザイトとは旧来の仲を崩していた。
先の新月の折、とある像が王に献上された。
王はそれをいたく気に入り、いつも傍に置いていたという。
その日を境に国の空には暗雲立ち込め、
疫病が蔓延し、あらゆる厄災が国を襲った。
ついには王までもが病の床に伏し、
国は滅びの危機に瀕していた。
国を救うため、
剣の長が極秘の任を携えて遠征隊を率い厄災の地に向かったが、
そのまま消息を絶った。

＜カルザイト＞

ヘリオドールの隣国に位置し北の海に臨する国。
歴史と伝統のあるロズベルク家が治めている。
建国王の教えに従い、無益な争いを望まずに国を維持し続けてきた。
王家には魔力を持って生まれる者が多く、
それの影響か、予知や勘が鋭いなど不思議な力を有していた為、
「王家は森の民と繋がりがあるのでは？」とまことしやかに言う者もいたが、
真実は誰にも分からなかった。

＜森の民＞

古い言い伝えの中に出てくる、人より先に生まれた種族。
強い陽の光を避け、森の陰に守られながら暮らしていたという。
優れた技術と高い魔力を有しており、
人の手では決して作ることの出来ない数々の品を、
今に残しているという。
ある時を境に彼らの姿は見られなくなった。
彼らが住んでいた地下の都は今では闇の者の彷徨い歩く廃都となっている。

＜森の民の聖地・古の都＞

厄災の地に佇む古びた神殿の地下には広大な遺跡が広がっているという。
かつて森の民が築いたと言われている神殿都市の名残である。
人知の及ばぬ何かを用いて造られたその都は、
人々から古の都と呼ばれている。
今では主たる森の民は滅び、
代わって魔物が彷徨い歩く廃墟に成り果てているという。
それでも機能の一部は失われておらず、
森の民の技の高さを窺わせる。
言い伝えにも残されている森の民の遺した宝を求め、
多くの者が足を踏み入れて来たが、
その殆どが生きて帰ることはなかった。

ディスクの収納・取り出し方法



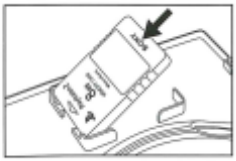
PUSHボタンを押すと、ディスクが浮き上がります。ディスクが浮いた状態になってから取り出してください。



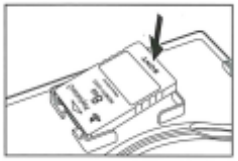
ディスクを収納するときは、ディスクの中心孔のすぐ外側を、カチッと音がするまで押し込んでください。

ディスクを無理に取り出そうとすると、ディスクが割れたり、傷が付いたり、指を挟んでけがをすることがありますのでご注意ください。また、ディスクが正しく収納されていないと、ディスクが割れたり、傷が付く原因となりますのでご注意ください。

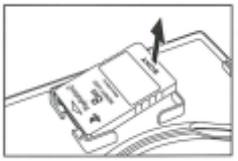
メモリーカードの収納・取り出し方法



1. メモリーカードの△印の彫り込みのある面を上にして、端子側を左端のフックに斜めに差し込んでください。



2.メモリーカードの若端を押し込んでください。



3.取り出す場合は、メモリーカードの若端から持ち上げてください。

使用上のご注意 ●このディスクは家庭用コンピュータエンタテインメント・システム"PlayStation 2"専用のソフトウェアです。他の機種でお使いになると、機器などの故障の原因や耳や目などの身体に悪い影響を与える場合がありますので絶対におやめください。●このディスクは NTSC J あるいは FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY の表記のある日本国内仕様の"PlayStation 2"にのみ対応しています。●ソフトウェアの「解説書」および"PlayStation 2"本体の「取扱説明書」「安全のために」をよくお読みの上、正しい方法でご使用ください。●このディスクを"PlayStation 2"本体にセットする場合は、必ずレーベル面(タイトルなどが印刷されている面)が見えるようにディスクトレイにのせてください。●直射日光があたるところや暖房器具の近くなど、高温のところに保管しないでください。湿気の多いところも避けてください。●ディスクは両面とも手を触れないように持ってください。●紙やテープをディスクに貼らないでください。●ディスクにペンなどで書きこみをしないでください。●指紋やほこりによるディスクの汚れは映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。●ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心部から外周部に向かって放射状に軽く ふいてください。●ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。●ひび割れや変形したディスク、あるいは接着剤などで補修されたディスクは誤作動や本体の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。●ディスクをケースから取り出す際には、ケースのPUSHボタンを押してディスクが浮いた状態になってから取り出してください。●無理に曲げたり、無理に取り出そうとするとディスクが割れたり、指を挟んでけがをすることがあります。●プレイ終了後はディスクをケースに戻し、幼児の手の届かない場所に保管してください。ケースに入れずに重ねたりななめに立てかけたりすると、そりや傷の原因になります。●このディスクの中心孔に、指など身体の一部を故意に挿入しないでください。抜けなくなったり、身体を傷つけることがあります。●このディスクを絶対に投げないでください。人体その他を傷つける恐れがあります。●お客様の誤ったお取り扱いにより生じたキズ、破損などに関しては補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。●"PlayStation 2"本体を液晶方式以外のプロジェクションテレビ(スクリーン投影方式テレビ)にはつながないでください。残像現象(画面の焼き付き)が起こることがあります。特に静止画を表示しているときは、残像現象が起こりやすくなります。●ソフトウェアによっては「"PlayStation 2"専用メモリーカード(8MB)」、「"PlayStation 2"専用ハードディスクドライブユニット」、"PocketStation"などが必要な場合があります。詳細はソフトウェアの「解説書」などで確認してください。●メモリーカードをケースに収める場合は、メモリーカードの△印の彫り込みのある面を上にして、端子側をケース上部のMEMORY CARD HOLDER(メモリーカードホルダー)にある左端のフックに斜めに差し込み、若端を押し込んでください。また、ケースから取り出す場合は、必ずメモリーカードの若端から持ち上げてください。端子側を無理に引き上げると、メモリーカードを破損させる恐れがありますので絶対におやめください。

健康上のご注意 ●プレイする時は健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。●アナログコントローラ(DUALSHOCK 2)などの振動機能を使って長い時間連続してプレイをしないでください。目安として約30分ごとに休憩をとってください。●疲れている時や睡眠不足の時はプレイを避けてください。●プレイする時は部屋を明るくし、なるべくテレビ画面から離れてください。●ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返すテレビ画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。プレイ中の画面を見ていてこのような症状や、めまい・吐き気・疲労感・乗り物酔いに似た症状などを感じた場合は、すぐにプレイを中止し、医師の診察を受けてください。●"PlayStation 2"本体の「取扱説明書」「健康のためのご注意」をよく読んで正しくご使用ください。

"PlayStation", "PlayStation", "DUALSHOCK" and "PocketStation" are registered trademarks of Sony Computer Entertainment Inc.